

# ひとひと 女と男 パートナークシツプ

問い合わせ先 企画課男女共同参画推進係 ☎ 72-2111 内線 222

## ワーク・ライフ・バランスの実現 ～仕事と生活の調和～

日々の生活の中で、仕事がほとんどの時間を占めていますか？

男女共同参画社会実現のための取り組みの1つに「ワーク・ライフ・バランスの実現」があります。ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事と生活の調和」と訳され、仕事と家庭生活、学習・趣味等の様々な活動を自らの希望するバランスで展開することです。

いまなぜ仕事と生活の調和が必要なのか

高度経済成長期に比べ、女性労働者が増え、共働き世帯が多数派になり、子育て世代男性は仕事も家庭も重視するようになってきました。しかし、実生活においては、

- ・ 安定した仕事に就けず、経済的に自立できない
- ・ 仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない
- ・ 仕事と子育てや介護との両立に悩む

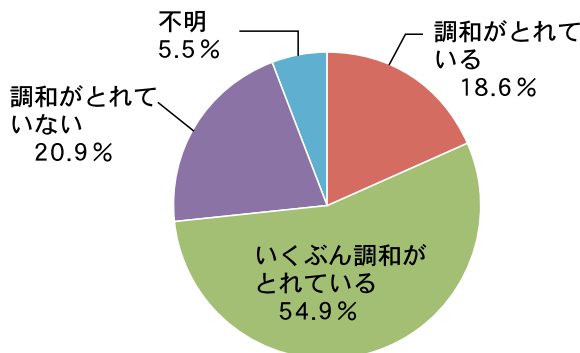
など、仕事と生活の間での問題が多く見られます。そこで今、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けての取り組みが必要とされています。「仕事」は暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらします。同時に家事・育児、家族との時間、友人との時間、近所の人との付き合いなどの「生活」も暮らしには欠かすことはできないもので

す。その両方の充実があつてこそ、生きがいや喜びは倍増するのではないのでしょうか。

ワーク・ライフ・バランスが実現できている人はどれくらいいるの？

ここで、ワーク・ライフ・バランスがどの程度実現されているのかを見てみましょう。次のグラフは福岡県が平成21年度に実施した「男女共同参画に向けての意識調査」の結果です。仕事と家庭の調和がとれているかどうかを見ると、「調和がとれている」と「いくぶん調和が

仕事と家庭の調和(ワーク・ライフ・バランス)について



平成22年3月福岡県「男女共同参画に向けての意識調査」より  
※端数処理をしていないため、構成比の表面上の計は100%になりません。

とれている」を合わせた73・5%の人が調和がとれていると考えています。

しかし、一方では20・9%の人が「調和がとれていない」と考えているのも現状です。

仕事と生活の調和の実現に向けての取り組み

働き方を変えることは簡単にはできないかもしれませんが。しかし、仕事に追われて「やりたいこと」のための時間がとれない、もしくは「やらなければならないこと」さえ満足にできていないのではありませんか？

ワーク・ライフ・バランスは幅広い分野に関わる問題ですが、具体的な改善へつなげるためには、疑問に思っていること、苦痛に感じていることを少しでも発信し、個人の課題から社会全体の運動として広げていく必要があります。

そのために、国では育児・介護休業、短時間勤務、在宅勤務など個人のおかれた状況に応じた柔軟な働き方を支える制度整備や、女性や高齢者への再就職・継続就業機会の提供などを行っており、今後地方自治体と連携を図りながら取り組んでいく方針をとっています。

大切にしたいいろいろなことを大切にできる生活、そんな生活を自分も、自分の周りのみんなも送ることができるように、ひとつ働き方を変えてみませんか？